

在宅から施設・病院へ ～在宅での介護に 限界を感じたとき

ある日、家族が若年性認知症だとわかった。

会社勤めなら退職を迫られ、自営業なら商売が成り立たなくなり、料理自慢の妻も料理の手順がわからなくなる。

居場所がなくなる。

デイサービス、ショートステイを利用し始めた。家族会を見つけた。

やがて、本人が不機嫌なことが多くなる。目を離すとどこかへ行ってしまふ。お風呂に入らない。コミュニケーションがとれなくなる。

ずっと在宅で世話をしたい。でも・・・。

いつかはやって来るだろうそのときを、体験者が語ります。

多分、3人3様のそのときを迎えたはずです。参考になることがあるかもしれません。聞いてみてください。

語り手：橋口節子、若林啓子、高橋恵美子（敬称略）

日時：2014年4月12日（土）午後2時～5時

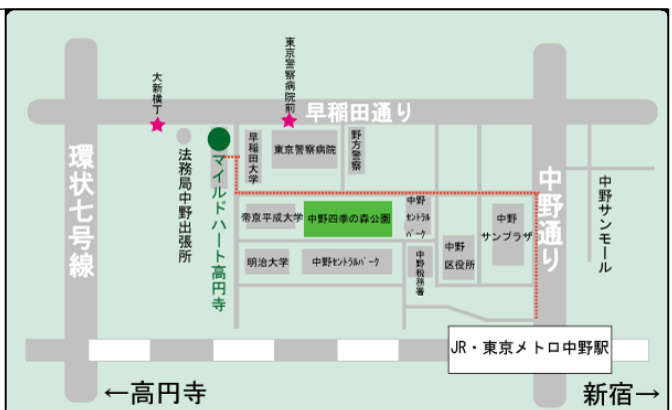
- ・参加費：500円（お茶・お菓子代などにあてます）
- ・交流会終了後に懇親会も予定しています。

○交流会の会場は

「マイルドハート高円寺」
地域交流スペース

（杉並区高円寺北1-28-1）
中野駅から徒歩10分。
中野駅周辺再開発地域の一角にある
介護・障害者施設。

☆運営法人である社会福祉法人鶴足津福祉会
のご理解ご協力により実施しています。



特定非営利活動法人

若年認知症交流会小さな旅人たちの会 **ちいたび会**

ホームページ：<http://chiitabi.jp/> メール：honbu@chiitabi.jp

TEL/FAX：03-3338-6932 担当：高橋